

「災害時歯科集団迅速アセスメント票 (レベル2様式)の記載について ～九州地区での2回の使用経験から～」



熊本地震 南阿蘇地区



平成29年九州北部豪雨 朝倉市・東峰村

2018年10月7日(日)
東京医科歯科大学1号館8階第4講義室

福岡県歯科医師会 会員
筑紫歯科医師会 医療管理担当理事
太田 秀人

* 発表後の公開にあたり、表現が適切ではないとご指摘いただいた部分には多少の修正を加えておりますが、要旨に変更はありません。

歯科支援の概要

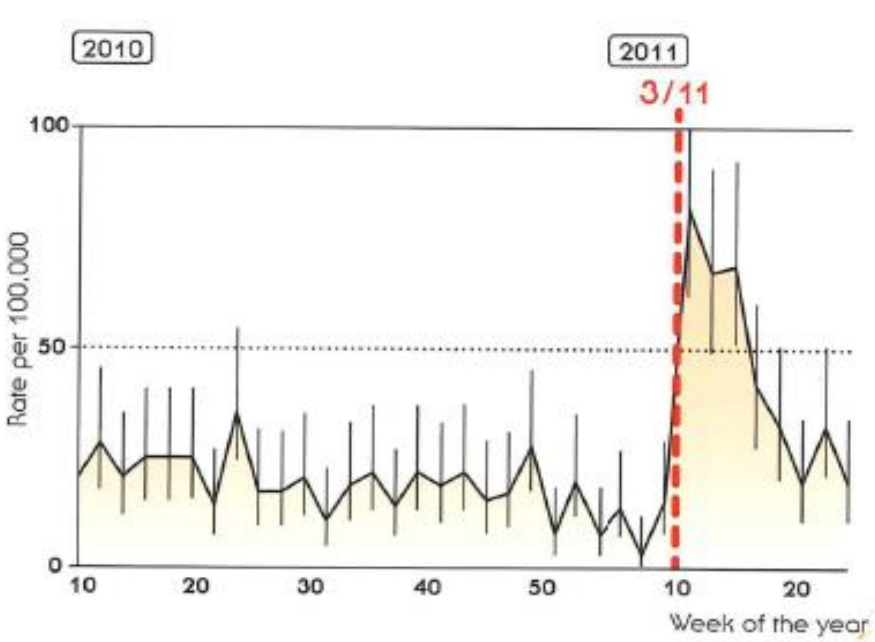
～主に 平成29年九州北部豪雨災害から～

過去のデータ等に基づき災害時歯科支援を行った

- ①「発災2週間の間に、肺炎がアウトブレイクした」
- ②「介護施設からの肺炎入院では、死亡率が高かった」



発災後の早期から、避難所以外の住民も念頭に入れた支援を！



		自宅	介護施設	避難所	合計
震災前	生存	162 (84%)	24 (75%)		186 (83%)
	死亡	31 (16%)	8 (25%)		39 (17%)
震災後	生存	89 (76%)	22 (55%)	54 (90%)	165 (76%)
	死亡	28 (24%)	18 (45%)	6 (10%)	52 (24%)

大東久佳, 鈴木基:東日本大震災後に気仙沼市内で発生した肺炎アウトブレイクの実態調査.
大和証券ヘルス財団研究業績集, 36巻:173-177, 2013.

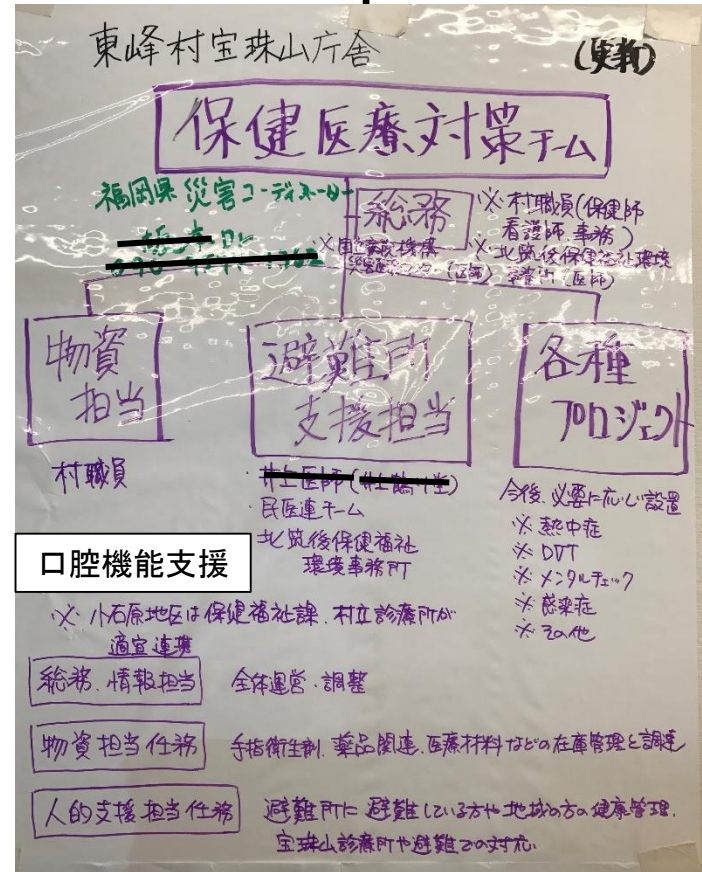
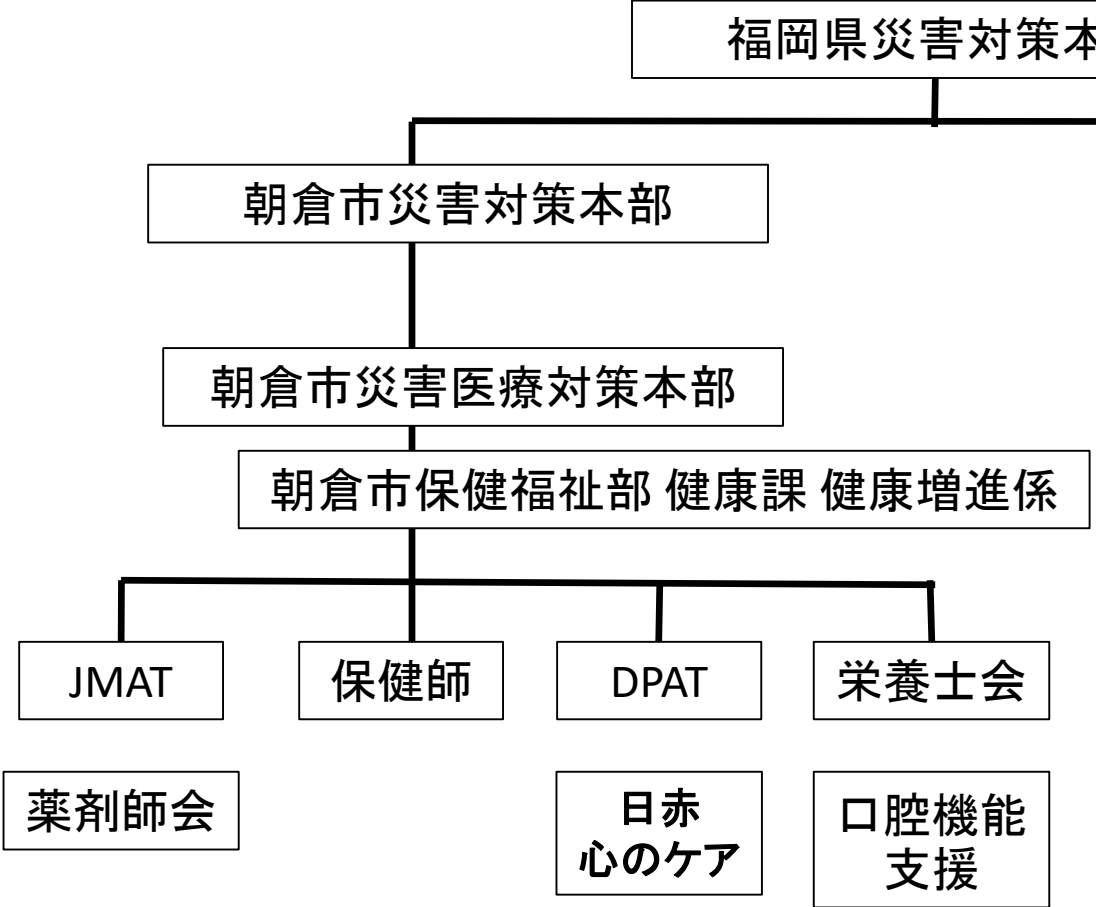
両災害での歯科集団迅速アセスメント実施時の状況

* 地震と豪雨災害という異なる災害のため、比較ではなく「まとめ」である

		熊本地震 本震(2016年4月16日)		九州北部豪雨(2017年7月5日)	
被災前後の概況		南阿蘇村+高森町		朝倉市+東峰村	
人口		11,619名+6,743名		54,412名+2,204名	
歯科医院		5院+3院		37院+2院	
避難者数		約2,300名+約400名(発災翌日)		約1,000名+約500名(発災翌日)	
時期		本震 8日後	本震 9日後~14日後	発災 9日後	発災 10日後
地域					
対策本部		立ち上がっていた		立ち上がっていた	
医療本部		南阿蘇村は立ち上がっていたが、高森町は必要なし		立ち上がっていた	
歯科医院		診療不能は 3/5院(南阿蘇村)	同2/5院(南阿蘇村)、0/3院(高森町)	診療不能 7/37院(朝倉市)+2/2院(東峰村)	
アセス実施者					
歯科医師		6名全員で担当 (口腔外科 5名、訪問 1名)	5名中から2~3名担当 (口腔外科 2名、全身管理 2名、 訪問1名、一般1名)	1名 (県歯科コーディネーター)	
		現地本部に 1名(支援チームコーディネーター)		現地本部に 人員なし	
歯科衛生士 (所属)		2名 (口腔外科)	4名中から2名担当 (全身管理歯科+衛生士会)	4名 (衛生士会連携室など)	5名 (衛生士会2名交代+1名追加)
対象					
避難所		9か所(南阿蘇村)	3か所(南阿蘇村)	9か所(朝倉市)	6か所(東峰村)
施設		リスト入手⇒4か所(南阿蘇村)	10か所(南阿蘇村)+3か所(高森町)	リスト入手 ⇒ 19か所(両地区)を電話にて確認	

九州北部豪雨での組織図は「福岡県」対応だった

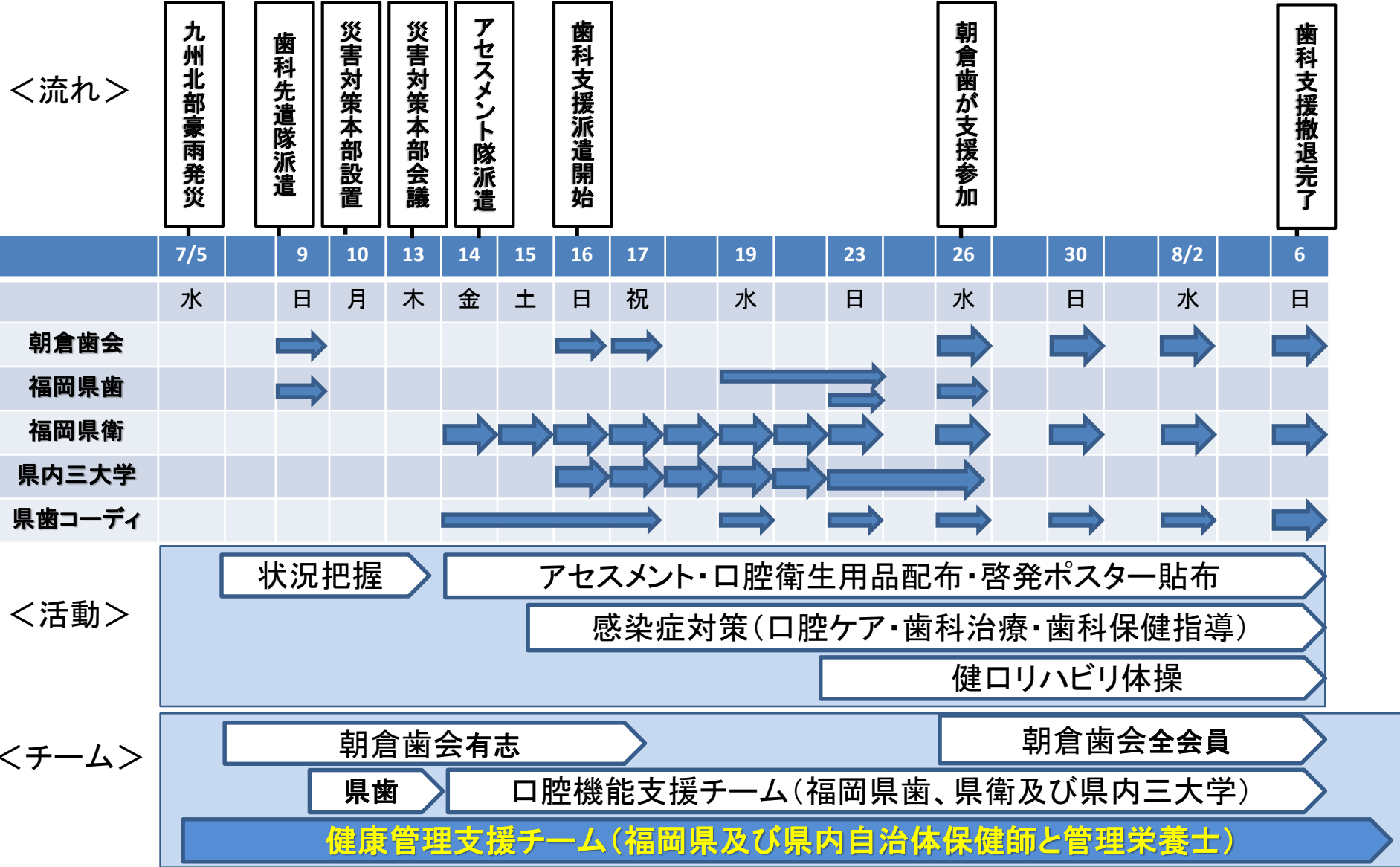
* 口腔機能支援チームは、朝倉市と東峰村のそれぞれの災害対策本部と連携を取りつつ活動した



- * 朝倉JMATは 7/17に撤退
- * 東日本大震災は「日本」対応
- * 熊本地震は「日本」⇒「九州ブロック」対応

九州北部豪雨での健康管理支援チームとの連携

* 先遣隊派遣時から健康管理支援チームと連携し、支援撤退時には同チームと地元朝倉歯に引き継いだ



歯科集団迅速アセスメント の実際の報告

～主に 平成29年九州北部豪雨災害から～

朝倉市・東峰村に点在する避難所等の状況

* 平成29年7月14日～15日時点(迅速集団アセスメント実施時)

<朝倉市>

多数名

7名

17名

1名

23名

18名

97名

11名

150名

40名

172名

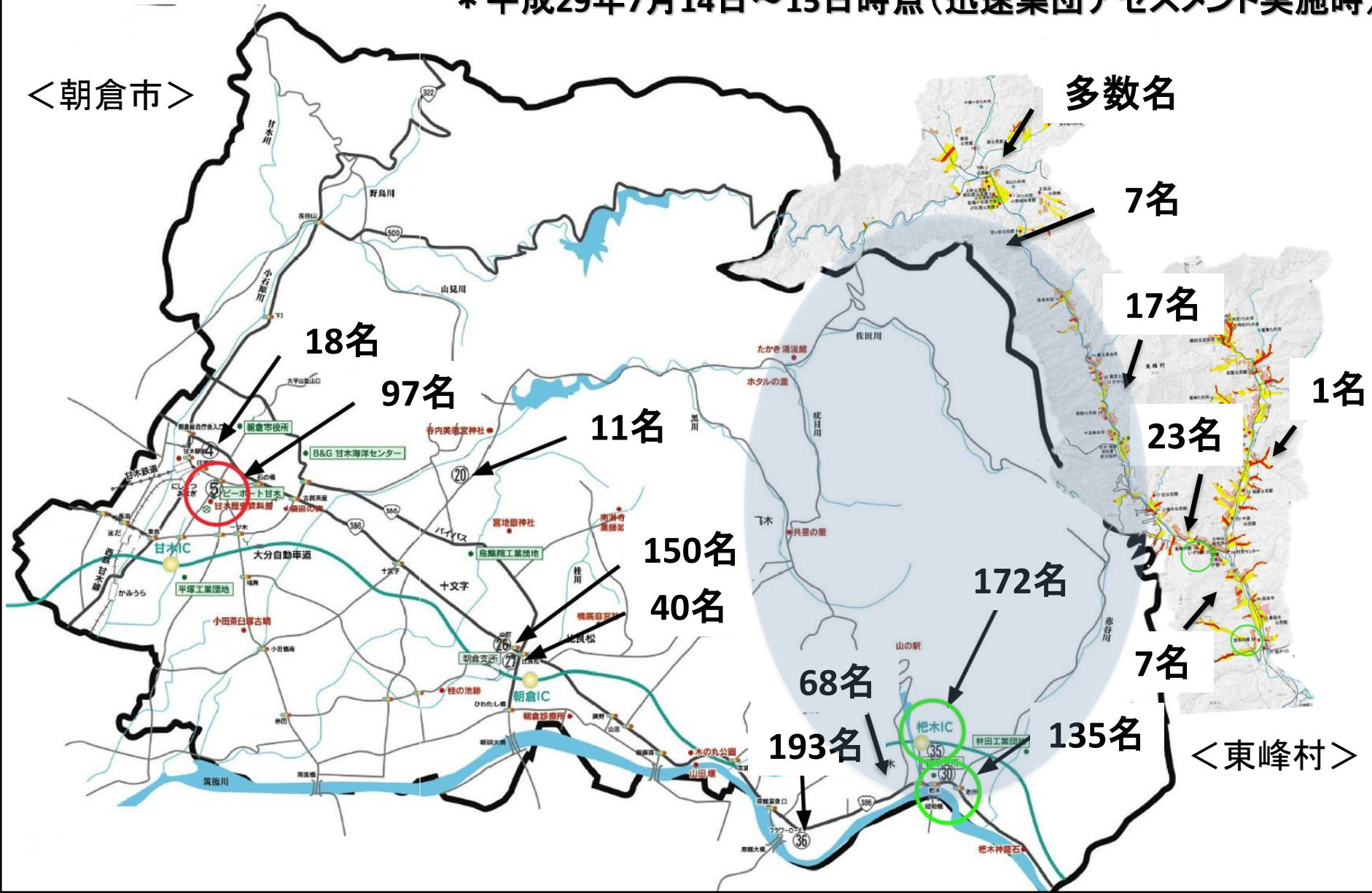
68名

7名

193名

135名

<東峰村>



「主観的判断」で、「迅速簡易評価」を！

* アセスメント隊に派遣された歯科衛生士に対して、事前注意として、上記を徹底した

事前情報は必ず記入

評価実施日時、曜日を必ず記入

No.

・避難所等歯科口腔保健 標準アセスメント票 (レベル2)

実施した方法を「全て」チェック

把握項目	名称	市町村名		
	避難者等の人数 (夜間を含む)	避難所等の責任者氏名		
	評価年月日 (曜日)	連絡先 (電話等)		
	評価時在所 避難者等の人数	氏名：() 所属：() 職種：1 歯科医師 2 歯科衛生士 3 保健師・看護師 4 医師 5 その他 ()	情報収集法	※ 実施した方法をすべてチェック <input checked="" type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> 責任者等からの聞き取り (役職・氏名：) <input type="checkbox"/> 避難者等からの聞き取り (人程度) <input type="checkbox"/> 現場の観察 <input type="checkbox"/> 支援活動等を通じて把握 <input type="checkbox"/> その他 ()
	項目	簡易評価	確認項目 (※確認できれば数値や具体的内容を記載)	特記事項

簡易評価は「大まかに」

該当項目以外のごことは「特記事項」に記入

※重要項目	(1) 対象者	a 乳幼児 (就学前) (約 人 or%) , 不明 b 妊婦 (約 人 or%) , 不明 c 高齢者 (75 歳以上) (約 人 or%) , 不明 d 障がい児者・要介護者 (約 人 or%) , 不明 e 糖尿病等の有病者 (約 人 or%) , 不明	
	(2) 口腔清掃等の環境	a 歯磨き用の水 1 充足, 2 不足*, 3 不明 *(具体的に:) b 歯磨き等の場所 1 充足, 2 不足*, 3 不明 *(具体的に:)	
		a-1 歯ブラシ (成人用) 1 充足, 2 不足 (約 人分) , 3 不明	

要諦は「その他の問題」「特記事項」であった

* 各項目ごと簡易評価と確認項目以外にも、知り得た事項は記載するように指示した

		(具体的に)	
	— (不明)		
	◎ (良好、問題なし) ○ (概ね良好、概ね問題なし) △ (やや問題あり) × (大いに問題あり)	a-1 歯ブラシ (成人用) 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 a-2 歯ブラシ (乳幼児用) 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 b 歯磨き剤 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 c うがい用コップ 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 d 義歯洗浄剤 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 e 義歯ケース 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明	不足数は「概算」で
簡易評価は「大まかに」	× (大いに問題あり) — (不明)		
(4) 口腔清掃状況	◎ (良好、問題なし) ○ (概ね良好、概ね問題なし) △ (やや問題あり) × (大いに問題あり) — (不明)	a 歯磨き 1 している, 2 ほとんどしていない, 3 不明 b 義歯清掃 1 している, 2 ほとんどしていない, 3 不明 c 乳幼児の介助 1 している, 2 ほとんどしていない, 3 不明 d 障がい児者・要介護者の介助 1 している, 2 ほとんどしていない, 3 不明	
(5)	◎ (良好、問題なし) ○ (概ね良好、概ね問題なし) △ (やや問題あり) × (大いに問題あり) — (不明)	a 痛みがある者 1 いる (約 人), 2 いない, 3 不明 b 食事等で不自由な者 1 いる (約 人), 2 いない, 3 不明 (義歯紛失、咀嚼や嚥下の機能低下等による)	該当項目以外のことは「特記事項」に記入
分らなければ「不明」に！「空白」NG！	◎ (良好、問題なし) ○ (概ね良好、概ね問題なし) △ (やや問題あり) × (大いに問題あり) — (不明)	a 受診可能な近隣の歯科診療所・歯科救護所・仮設歯科診療所等 1 あり, 2 ない, 3 不明 b 巡回歯科チームの訪問 1-① あり (定期的), 1-② あり (不定期), 2 ない, 3 不明	
(6) 歯科保健医療の確保	◎ (良好、問題なし) ○ (概ね良好、概ね問題なし) △ (やや問題あり) × (大いに問題あり) — (不明)		
その他の問題	例) 歯科保健医療に関するその他の事項、避難所のインフラ・衛生状況等に関する事項、医師や保健師等の他チームに伝達すべき事項		

※ 書ききれない情報や関連情報は、特記事項欄に記入してください。 日本災害時公衆衛生研究会 標準 Ver3.0

該当以外の情報や関連情報(インフラ・衛生環境・多職種への伝達事項は「特記事項」へ

浮かび上がった問題点と 考察

～主に 平成29年九州北部豪雨災害から～

1、「評価者」の視点から

～主に 平成29年九州北部豪雨災害から～

1、特定部位(赤点線枠)に「記入漏れ」が目立った

* アセスメントを担当した歯科衛生士からは、以下のような感想が聞かれた

施設・避難所等歯科口腔保健 標準アセスメント票 (レベル2)		No. <input type="text"/>	
避難所等の名称	市町村名	No. <input type="text"/>	
避難所等の人数(概数)	避難所等の責任者氏名		
評価年月日(曜日)	連絡先(電話等)		
評価時在所避難者等の人数	人 (AM/PM 時表在)	<input type="checkbox"/> 表題した方法をすべてチェックする <input type="checkbox"/> 責任者等からの聞き取り <input type="checkbox"/> (名称・氏名) <input type="checkbox"/> 避難所等からの聞き取り (人程度) <input type="checkbox"/> 現場の観察 <input type="checkbox"/> 支援活動等を通じて把握 <input type="checkbox"/> その他 ()	
評価者氏名(職)	所属: 職種: 1 歯科医師 2 歯科衛生士 3 保健師・看護師 4 医師	情報収集法	
項目	簡易評価	確認項目 (※確認できれば数値や具体的内容を記載)	特記事項
(1) 特に口腔衛生に配慮が必要な対象者	<input type="checkbox"/> 0歳児、乳幼児 <input type="checkbox"/> 高齢者 (75歳以上) <input type="checkbox"/> 障がい児者・要介護者 <input type="checkbox"/> 妊婦	a 乳幼児 (約 人or%)、不明 b 妊婦 (約 人or%)、不明 c 高齢者 (75歳以上) (約 人or%)、不明 d 障がい児者・要介護者 (約 人or%)、不明 e 妊婦 (約 人or%)、不明	
(2) 口腔清掃等の環境	<input type="checkbox"/> 良好、問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり、改善が必要なし <input type="checkbox"/> (改善が必要) <input type="checkbox"/> (改善が必要) <input type="checkbox"/> (不明)	a 歯磨き用の水 1 充足、2 不足、3 不明 * (具体的に:) b 歯磨き等の場所 1 充足、2 不足、3 不明 * (具体的に:)	
(3) 口腔清掃用具等の確保	<input type="checkbox"/> 良好、問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり、改善が必要なし <input type="checkbox"/> (改善が必要) <input type="checkbox"/> (改善が必要) <input type="checkbox"/> (不明)	a-1 歯ブラシ (成人用) 1 充足、2 不足 (約 人分)、3 不明 a-2 歯ブラシ (乳幼児用) 1 充足、2 不足 (約 人分)、3 不明 b 歯磨き剤 1 充足、2 不足 (約 人分)、3 不明 c うがい用コップ 1 充足、2 不足 (約 人分)、3 不明 d 歯磨き剤 1 充足、2 不足 (約 人分)、3 不明 e 歯磨きケース 1 充足、2 不足 (約 人分)、3 不明	
(4) 口腔清掃状況	<input type="checkbox"/> 良好、問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり、改善が必要なし <input type="checkbox"/> (改善が必要) <input type="checkbox"/> (改善が必要) <input type="checkbox"/> (不明)	a 歯磨き 1 している、2 ほとんどしていない、3 不明 b 歯磨き指導 1 している、2 ほとんどしていない、3 不明 c 乳幼児の介助 1 している、2 ほとんどしていない、3 不明 d 障がい児者・要介護者の助 1 している、2 ほとんどしていない、3 不明	
(5) 歯や口の訴え・異状	<input type="checkbox"/> 良好、問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり、改善が必要なし <input type="checkbox"/> (改善が必要) <input type="checkbox"/> (改善が必要) <input type="checkbox"/> (不明)	a 痛みがある者 1 いる (約 人)、2 いない、3 不明 b 食事等で不自由な者 1 いる (約 人)、2 いない、3 不明 (歯磨き粉、歯磨き剤や歯下の機能低下等による)	
(6) 歯科保健医療の確保	<input type="checkbox"/> 良好、問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり、改善が必要なし <input type="checkbox"/> (改善が必要) <input type="checkbox"/> (改善が必要) <input type="checkbox"/> (不明)	a 受診可能な近隣の歯科診療所・歯科診療所・仮設歯科診療所等 1 あり、2 ない、3 不明 b 巡回歯科チームの訪問 1-①あり (定期)、1-②あり (不定期)、2 ない、3 不明	
その他の問題	前) 歯科保健に關するその他の事項、避難所のインフラ・衛生状況等に関する事項、避難所や避難所等のチームに關する事項		

1、「各項目の意味が不明」

⇒ 各項目を説明してある表現を理解していなかった?

2、「書きにくい」

⇒ 各項目の記入順や記入内容に慣れていなかった?

3、「うっかり書き忘れた」

⇒ 各項目の記入順序に従わずに見逃したか?

※ 書ききれない情報や関連情報は、特記事項欄に記入してください。 日本災害時公衆衛生研究会 標準 Ver3.0 (〇〇県・〇〇県歯科医師会・〇〇県歯科衛生士会)

2、「現地歯科コーディネーター」 の視点から

～主に 平成29年九州北部豪雨災害から～

2、「コーディネートの判断能力」が問われた

* 限られた人材・器材の中で、結果(=災害関連死ゼロ)を出すための判断能力が必要だった

施設・避難所等歯科口腔保健 標準アセスメント票 (レベル2)		No.	
避難所等の名称	市町村名		
避難者等の人数 (避難者)	避難所等の責任者氏名		
評価年月日 (曜日)	連絡先 (電話等)		
評価時在所避難者等の人数	情報収集法		
評価者氏名	氏名: 所属: 職種: 1 歯科医師 2 歯科衛生士 3 保健師・看護師 4 医師 5 その他 ()	<input type="checkbox"/> 実施した方法をすべてチェックする <input type="checkbox"/> 責任者等からの聞き取り (診療・氏名:) <input type="checkbox"/> 避難者等からの聞き取り () <input type="checkbox"/> 現場の観察 <input type="checkbox"/> 支援活動等を通じて把握 <input type="checkbox"/> その他 ()	
項目	簡易評価	確認項目 (※確認できれば数値や具体的内容を記載)	特記事項
(1) 特に口腔衛生配慮が必要な対象者	<input type="checkbox"/> 高齢者 (75歳以上) <input type="checkbox"/> 障がい児者・要介護者 <input type="checkbox"/> 障がい児者の兄弟姉妹者	a 乳幼児 (乳児) (約 人 or %)、不明 b 妊婦 (約 人 or %)、不明 c 高齢者 (75歳以上) (約 人 or %)、不明 d 障がい児者・要介護者 (約 人 or %)、不明 e 障がい児者の兄弟姉妹者 (約 人 or %)、不明	
(2) 口腔清掃等の環境	<input type="checkbox"/> 歯磨き水 <input type="checkbox"/> 歯磨き粉 <input type="checkbox"/> 歯磨き用の場所	a 歯磨き用の水 1 充足、2 不足、3 不明 (具体的に:) b 歯磨き等の場所 1 充足、2 不足、3 不明 (具体的に:)	
(3) 口腔清掃用具等の確保	<input type="checkbox"/> 歯ブラシ (成人用) <input type="checkbox"/> 歯ブラシ (乳幼児用) <input type="checkbox"/> 歯磨き剤 <input type="checkbox"/> うがい用カップ <input type="checkbox"/> 歯磨き洗剤 <input type="checkbox"/> 歯磨きケース	a-1 歯ブラシ (成人用) 1 充足、2 不足 (約 人分)、3 不明 a-2 歯ブラシ (乳幼児用) 1 充足、2 不足 (約 人分)、3 不明 b 歯磨き剤 1 充足、2 不足 (約 人分)、3 不明 c うがい用カップ 1 充足、2 不足 (約 人分)、3 不明 d 歯磨き洗剤 1 充足、2 不足 (約 人分)、3 不明 e 歯磨きケース 1 充足、2 不足 (約 人分)、3 不明	
(4) 口腔清掃状況	<input type="checkbox"/> 歯磨き <input type="checkbox"/> 歯磨き剤 <input type="checkbox"/> 乳幼児の介助 <input type="checkbox"/> 障がい児者・要介護者の介助	a 歯磨き 1 している、2 ほとんどしていない、3 不明 b 歯磨き剤 1 している、2 ほとんどしていない、3 不明 c 乳幼児の介助 1 している、2 ほとんどしていない、3 不明 d 障がい児者・要介護者の介助 1 している、2 ほとんどしていない、3 不明	
(5) 歯や口の訴え・異常	<input type="checkbox"/> 痛み <input type="checkbox"/> 歯肉の腫れ <input type="checkbox"/> 歯肉の出血 <input type="checkbox"/> 歯肉の発赤 <input type="checkbox"/> 歯肉の腫れ	a 痛みがある者 1 いる (約 人)、2 いない、3 不明 b 食事等で不自由な者 1 いる (約 人)、2 いない、3 不明 (歯粉粉失、咀嚼や嚥下の機能低下による)	
(6) 歯科保健設備の確保	<input type="checkbox"/> 歯科診療室 <input type="checkbox"/> 歯科診療室の設備 <input type="checkbox"/> 巡回歯科チームの依頼	a 受診可能な近隣の歯科診療所・歯科診療所・仮設歯科診療所等 1 あり、2 ない、3 不明 b 巡回歯科チームの依頼 1-① あり (定期)、1-② あり (不定期)、2 ない、3 不明	
その他の問題			

1、「支援の優先項目の考え方」は？

⇒ (1)～(6)のどれか？

2、「避難所間での優先順位」は？

⇒ 総括表をどう活用するか？

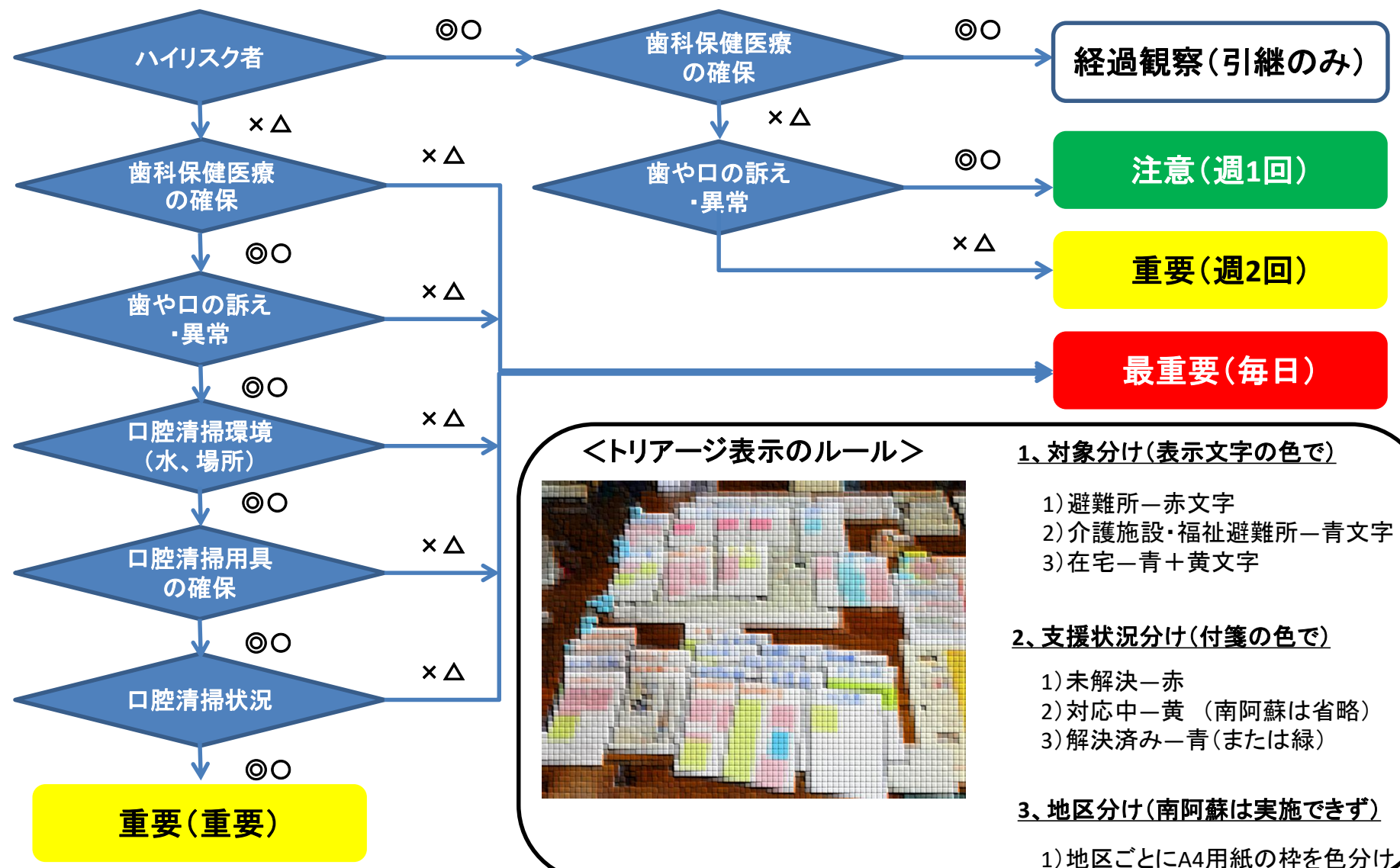
3、「今後の予測」は？

⇒ 時系列で評価するには、避難所の避難者という母集団が変化し、非常に難しい¹⁾か？

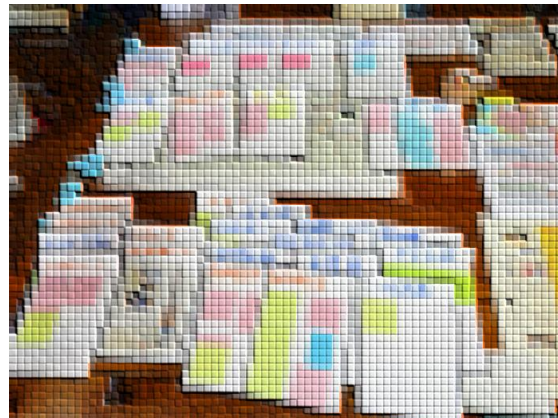
* 中久木康一、北原稔、森谷俊樹、ほか、災害時の歯科口腔保健アセスメントと歯科診療記録の標準化 ～熊本地震の対応より～ 第76回日本公衆衛生学会総会、2017年10月31日～11月2日(火～木)、鹿児島

「各項目の優先順位の考え方」を提案した

* 太田案として、まず「ハイリスク者の有無」と「歯科保健医療の確保」を最優先にし、重要度分類した



<トリアージ表示のルール>

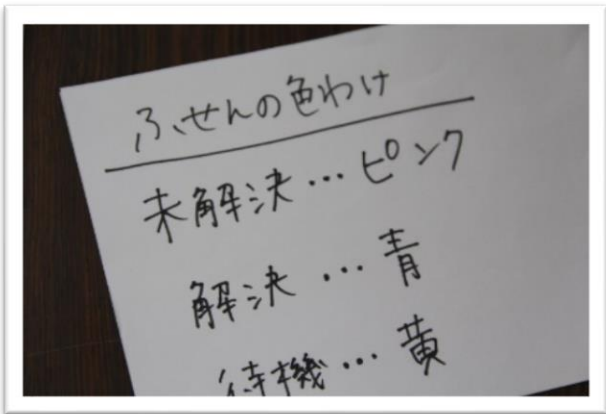
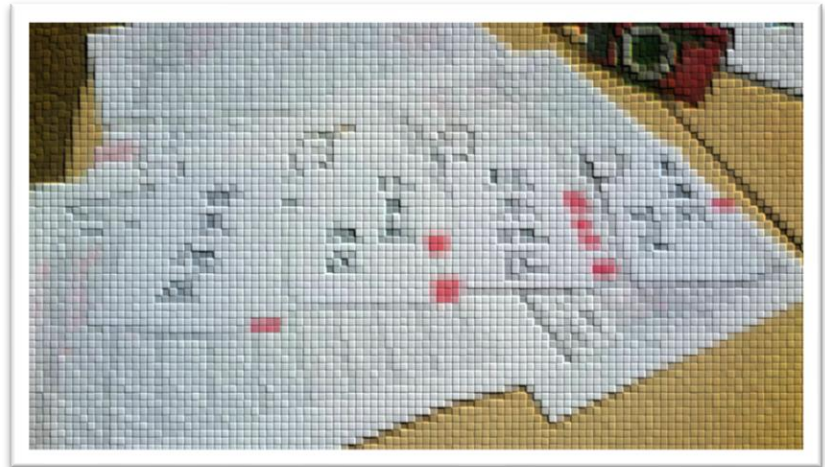
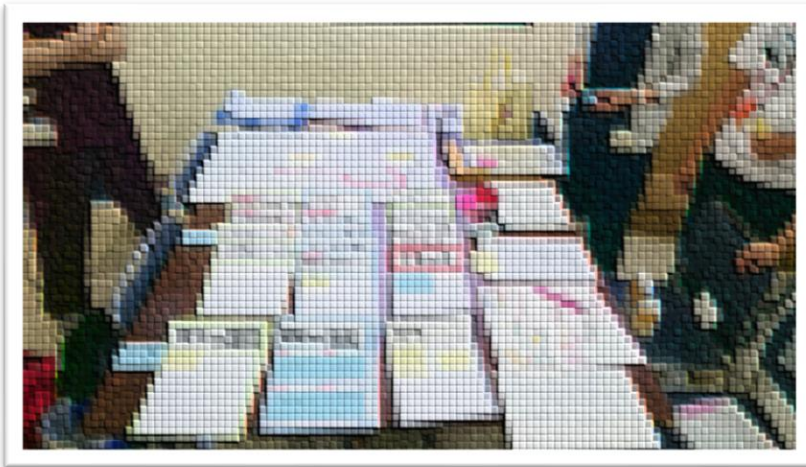


- 1、対象分け(表示文字の色で)**
 - 1) 避難所—赤文字
 - 2) 介護施設・福祉避難所—青文字
 - 3) 在宅—青+黄文字
- 2、支援状況分け(付箋の色で)**
 - 1) 未解決—赤
 - 2) 対応中—黄 (南阿蘇は省略)
 - 3) 解決済み—青(または緑)
- 3、地区分け(南阿蘇は実施できず)**
 - 1) 地区ごとにA4用紙の枠を色分け

「今後の予測」を行う必要性があった

＝地元への引継ぎを見据えた活動が必要だった

* 熊本「地震」よりも、九州北部「豪雨災害」は、短期間で、支援⇒撤退への状況判断が必要とされた



- ・避難所等トリアージの再実施
- ・引継ぎツールの考案と運用
- ・朝倉歯・福岡県衛との協働

熊本地震での総括表の活用経験を参考にした

* 南阿蘇地区では避難所よりも介護施設の状況が悪く、優先的に支援を行った

避難所等歯科口腔保健 標準アセスメント票 (レベル2) 用 総括表<簡易版>										市町村名	作成年月日
アセスメント実施年月日										2016年 9月 7日	2016年 9月 7日
アセスメント実施年月日										2016年 9月 7日	2016年 9月 7日
作成者氏名 (所属名)										(福果歯)	◎良好・問題なし、○ほぼ良好・ほぼ問題なし、 △やや問題あり、×大いに問題あり、-:不明
No	避難所等の名称	避難者等の人数(人)	(1)ハイリスク者特に口腔衛生に配慮が必要な対象者(人、%)	(2)環境 口腔清掃等の環境	(3)用具 口腔清掃用具等の確保	(4)清掃行動 口腔清掃状況	(5)症状 歯や口の訴え・異常	(6)専門支援 歯科保健医療の確保	その他の問題	備考	
1		90	85	○	○	○	○	○	食卓の汚染	歯用グッズの不足	
2		6	85	○	△	◎	○	○		義歯洗浄剤の不足	
3		20	90	◎	△	△	○	○	pain 1/20	おしり拭き(おしり)	
4		106		○	◎	○	○	○		食中の人数が11人	
5		77		◎	△	○	△	○	pain 1/70	食中の人数が11人	
6										→下2の表を参照	
7		45	100	△	△	○	◎	○		DIY歯ブラシ	

避難所等歯科口腔保健 標準アセスメント票 (レベル2) 用 総括表<簡易版>										市町村名	作成年月日
アセスメント実施年月日										2016年 9月 7日	2016年 9月 7日
アセスメント実施年月日										2016年 9月 7日	2016年 9月 7日
作成者氏名 (所属名)										(福果歯)	◎良好・問題なし、○ほぼ良好・ほぼ問題なし、 △やや問題あり、×大いに問題あり、-:不明
No	避難所等の名称	避難者等の人数(人)	(1)ハイリスク者特に口腔衛生に配慮が必要な対象者(人、%)	(2)環境 口腔清掃等の環境	(3)用具 口腔清掃用具等の確保	(4)清掃行動 口腔清掃状況	(5)症状 歯や口の訴え・異常	(6)専門支援 歯科保健医療の確保	その他の問題	備考	
1		195		○	△	○	△	×		食中の人数	
2		16	100	△	△	×	◎	○			
3		40	100	△	◎	×	◎×	○		PEG 9/20	
4		16	100	△	○	○	○	○			
5		798	X								
6		61	X								
7		17	X								

歯科支援の「全体像」と「流れ」を読む

*南阿蘇地区では避難所ごとに（A4用紙）状況をまとめて優先順位を提案し、日々更新した

① 「アセスメント結果」の トリアージ表示

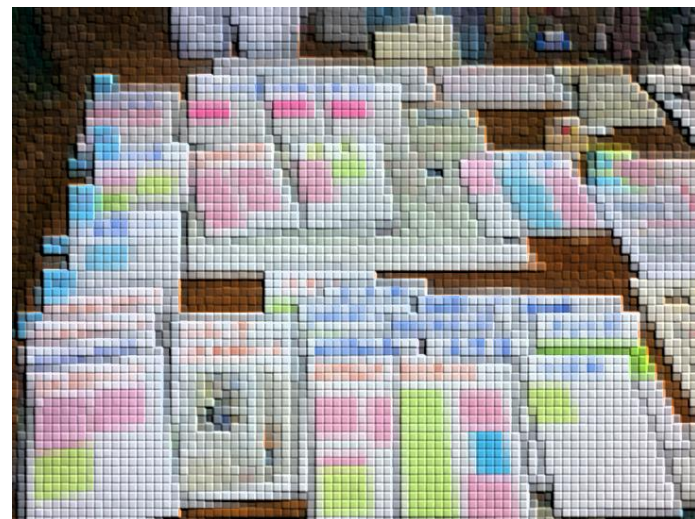
（＝最重要、重要、注意、観察）

最重要

重要

注意

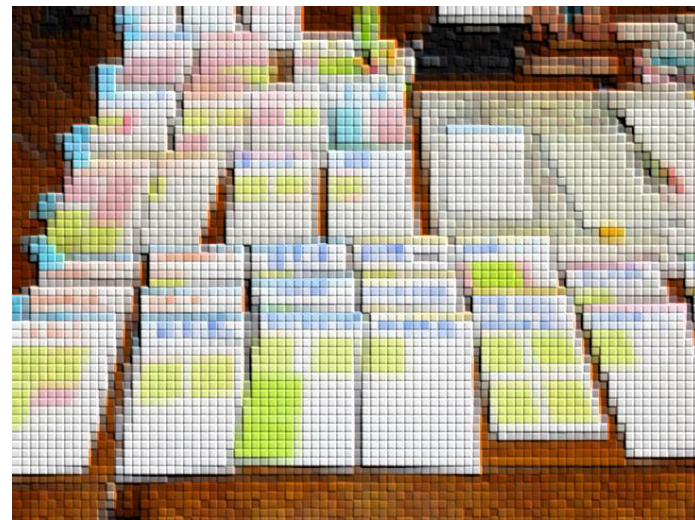
観察

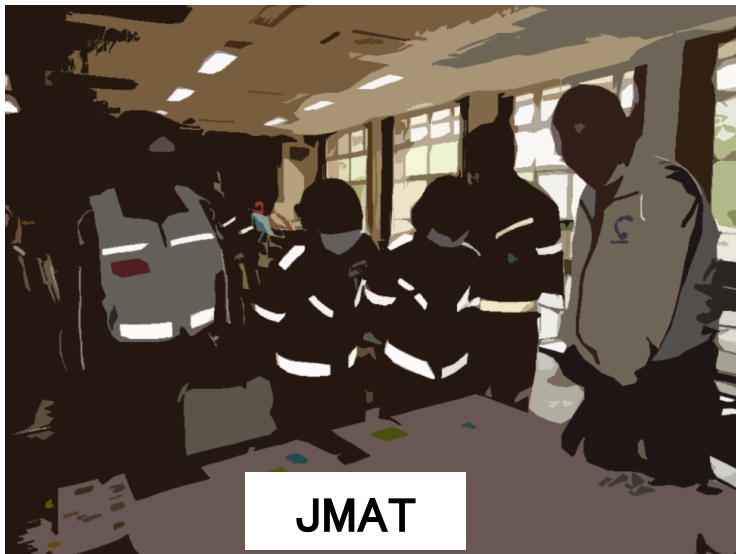


② 「付箋」のトリアージ表示

ピンク（＝未解決）

青（＝解決または不要）





誰もが立ち寄る「情報ステーション」



* 南阿蘇地区では、3~4日で交代する他チームに対し、歯科チームからも情報提供を行った

3、「県歯科医師会コーディネーター」 「集計担当者」の視点から

～主に 平成29年九州北部豪雨災害から～

3、「ほぼ同じ場所での記入漏れ」が不可解だった

* 集計・分析に時間がかかり、県歯としての情報把握が困難で、コーディネート機能に悪影響を与えた

施設・避難所等歯科口腔保健 標準アセスメント票 (レベル2)		No.	
避難所等の名称	市町村名		
避難所等の人数(避難者)	避難所等の責任者氏名		
評価年月日(曜日)	連絡先(電話等)		
評価時在所避難者等の人数	人 (AM/PM 時表在)	※ 表題した方法をすべてチェック する <input type="checkbox"/> 責任者等からの聞き取り <input type="checkbox"/> (店舗・氏名) <input type="checkbox"/> 避難者等からの聞き取り (人程度) <input type="checkbox"/> 現場の観察 <input type="checkbox"/> 支援活動等を通じて把握 <input type="checkbox"/> その他 ()	
評価者氏名(職)	情報収集法		
氏名 所属: 職種: 1 歯科医師 2 歯科衛生士 3 保健師・看護師 4 医師			
項目	簡易評価	確認項目 (※確認できれば数値や具体的内容を記載)	特記事項
(1) 特に口腔衛生に配慮が必要なお年寄り	◎ (充分) ◎ (可) △ (やや不足) × (不足) ○ (不明)	a 乳幼児(3歳以下) (約 人)or%、不明 b 妊婦 (約 人)or%、不明 c 高齢者(75歳以上) (約 人)or%、不明 d 障がい児者・要介護者 (約 人)or%、不明 e 高齢者(75歳以上) (約 人)or%、不明	
(2) 口腔清掃等の環境	◎ (充分) ◎ (可) △ (やや不足) × (不足) ○ (不明)	a 歯磨き用の水 1 充足、2 不足、3 不明 * (具体的に:) b 歯磨き等の場所 1 充足、2 不足、3 不明 * (具体的に:)	
(3) 口腔清掃用具等の確保	◎ (充分) ◎ (可) △ (やや不足) × (不足) ○ (不明)	a-1 歯ブラシ(成人用) 1 充足、2 不足(約 人分)、3 不明 a-2 歯ブラシ(乳幼児用) 1 充足、2 不足(約 人分)、3 不明 b 歯磨き剤 1 充足、2 不足(約 人分)、3 不明 c うがい用コップ 1 充足、2 不足(約 人分)、3 不明 d 歯磨洗淨剤 1 充足、2 不足(約 人分)、3 不明 e 歯磨ケース 1 充足、2 不足(約 人分)、3 不明	
(4) 口腔清掃状況	◎ (充分) ◎ (可) △ (やや不足) × (不足) ○ (不明)	a 歯磨き 1 している、2 ほとんどしていない、3 不明 b 歯磨清掃 1 している、2 ほとんどしていない、3 不明 c 乳幼児の介助 1 している、2 ほとんどしていない、3 不明 d 障がい児者・要介護者の助 1 している、2 ほとんどしていない、3 不明	
(5) 歯や口の訴え・異増	◎ (充分) ◎ (可) △ (やや不足) × (不足) ○ (不明)	a 痛みがある者 1 いる(約 人)、2 いない、3 不明 b 食事等で不自由な者 1 いる(約 人)、2 いない、3 不明 (歯磨粉失、咀嚼や嚥下の機能低下等による)	
(6) 歯科保健医療の確保	◎ (充分) ◎ (可) △ (やや不足) × (不足) ○ (不明)	a 受診可能な口腔の歯科診療所・歯科診療所・仮設歯科診療所等 1 あり、2 ない、3 不明 b 巡回歯科チームの訪問 1-①あり(定額制)、1-②あり(不定額) 2 ない、3 不明	
その他の問題	前) 歯科保健に關するその他の事項、避難所のインフラ・衛生状況等に関する事項、避難所や避難所等のチームに關する事項		

1、「各項目の意味が不明」

⇒ 各項目を説明してある表現を理解していなかった?

2、「書きにくい」

⇒ 各項目の記入順や記入内容に慣れていなかった?

3、「うっかり書き忘れた」

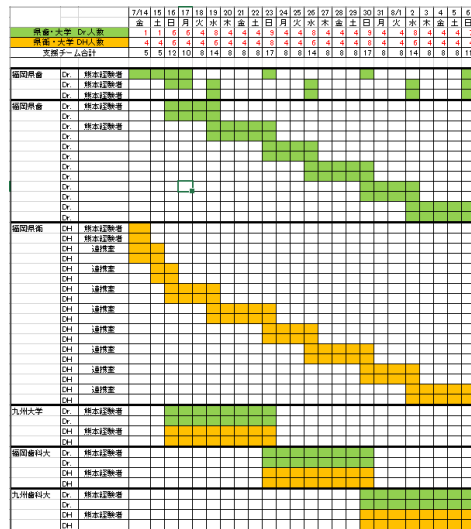
⇒ 各項目の記入順序に従わずに見逃したか?

※ 書ききれない情報や関連情報は、特記事項欄に記入してください。 日本災害時公衆衛生研究会 標準 Ver3.0 (〇〇県・〇〇県歯科医師会・〇〇県歯科衛生士会)

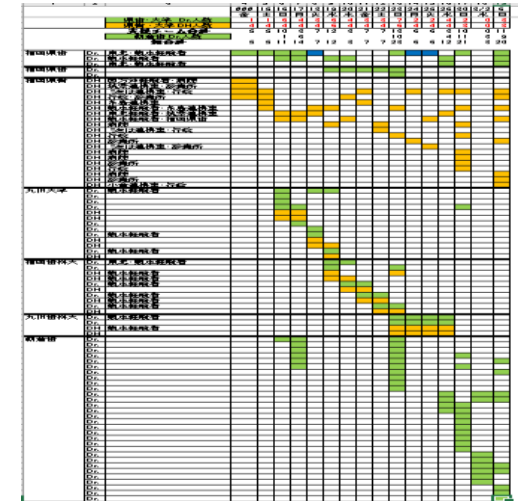
災害支援派遣体制と人数の問題も考えられた

* 日帰り可能な県内事案だったため、アセスメント隊の人員構成が当初の派遣計画とは異なった

<計画>



<結果>



種別	実人数	のべ人数
福岡県歯Co	3	17
福岡県歯Dr.	12	54
福岡県衛DH	18	64
大学Dr.	6	48
大学DH	6	48
合計	45	231

種別	実人数	のべ人数
福岡県歯Co	3	15
福岡県歯Dr.	2	6
福岡県衛DH	20	36
大学Dr.	15	30
大学DH	12	26
合計	52	113
朝倉歯Dr.	30	49
総合計	82	162

福岡県歯科医師会:九州北部豪雨災害派遣に関する報告会(10/16)配布資料より

コーディネーターは、 「常に、災害医療の行動原則に従う」

* 歯科治療や口腔ケアを開始する前に、「安全確保」と「迅速評価」は不可欠である

“CSCATTT”

Command & Control: 指揮命令系統の確立

Safety: 安全確保

Communication: 情報伝達

Assessment: 迅速評価

(**T**riage: トリアージ)

(**T**reatment: 治療)

(**T**ransportation: 搬送)

まとめ

～九州地区での2回の使用経験から～

* これまでの経緯からは、本来は事前に十分な研修を受けた支援者が記載することが前提であったが、私が経験した実際の現場では（災害現場はおろか研修会すらも未経験で）ほとんど素人同然の支援者が記載し、しかもそれを集計して対応を提案する者も素人同然である、という場合が少なくないのではないかと思います、それを前提とした場合も考えておく必要があるのではないかと考えた。

2度の使用経験から、記載様式を考える

* 本来は事前に十分な研修を受けた支援者が記載することが前提であったが、実際の現場ではほとんど素人同然の支援者が記載し、しかもそれを集計して対応を提案する者も素人同然である、という場合が少なくないのではないかと思えた。

施設・避難所等歯科口腔保健 標準アセスメント票 (レベル2)		No. _____	
避難所等の名称	市町村名		
避難者等の人数と性別の割合	人 (月 日 日 夜)	避難所等の責任者氏名	
評価年月日 (曜日)	年 月 日 ()	連絡先 (電話等)	
評価時在避難者等の人数	人 (AM/PM 時 時 分)	<input type="checkbox"/> 実施した方法をすべてチェック <input type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> 責任者等からの聞き取り (日時・氏名:) <input type="checkbox"/> 避難者等からの聞き取り () (人数) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 現場の観察 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 支援活動等を通じて把握 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/>	
評価者氏名	氏名: 所属: 職種: 1 歯科医師 2 歯科衛生士 3 保健師・看護師 4 医師 5 その他 ()	情報収集法	
項目	簡易評価	確認項目 (※確認できれば数値や具体的内容を記載)	特記事項
(1) 特に口腔衛生に配慮が必要な対象者		a 乳幼児 (就学前) (約 人 or%)、不明 b 妊婦 (約 人 or%)、不明 c 高齢者 (75 歳以上) (約 人 or%)、不明 d 障がい児者・要介護者 (約 人 or%)、不明 e 障がい児者の有傷者 (約 人 or%)、不明	
(2) 口腔清掃等の環境	<input checked="" type="radio"/> 良好、問題なし <input type="radio"/> 問題あり、問題なし <input type="radio"/> 不明 <input type="checkbox"/> 不明 (理由)	a 歯磨き用の水 1 充足、2 不足、3 不明 (具体的に:) b 歯磨き等の場所 1 充足、2 不足、3 不明 (具体的に:)	
(3) 口腔清掃用具等の確保	<input checked="" type="radio"/> 良好、問題なし <input type="radio"/> 問題あり、問題なし <input type="radio"/> 不明 <input type="checkbox"/> 不明 (理由)	a-1 歯ブラシ (成人用) 1 充足、2 不足 (約 人分)、3 不明 a-2 歯ブラシ (乳幼児用) 1 充足、2 不足 (約 人分)、3 不明 b 歯磨き剤 1 充足、2 不足 (約 人分)、3 不明 c うがい用コップ 1 充足、2 不足 (約 人分)、3 不明 d 歯磨き剤 1 充足、2 不足 (約 人分)、3 不明 e 歯磨きケース 1 充足、2 不足 (約 人分)、3 不明	
(4) 口腔清掃状況	<input checked="" type="radio"/> 良好、問題なし <input type="radio"/> 問題あり、問題なし <input type="radio"/> 不明 <input type="checkbox"/> 不明 (理由)	a 歯磨き 1 している、2 ほとんどしていない、3 不明 b 歯磨き剤 1 している、2 ほとんどしていない、3 不明 c 乳幼児の介助 1 している、2 ほとんどしていない、3 不明 d 障がい児者・要介護者の介助 1 している、2 ほとんどしていない、3 不明	
(5) 歯や口の訴え・異常	<input checked="" type="radio"/> 良好、問題なし <input type="radio"/> 問題あり、問題なし <input type="radio"/> 不明 <input type="checkbox"/> 不明 (理由)	a 痛みがある者 1 いる (約 人)、2 いない、3 不明 b 食事等で不自由な者 1 いる (約 人)、2 いない、3 不明 (歯磨き粉、咀嚼や嚥下の機能低下等による)	
(6) 歯科保健医療の確保	<input checked="" type="radio"/> 良好、問題なし <input type="radio"/> 問題あり、問題なし <input type="radio"/> 不明 <input type="checkbox"/> 不明 (理由)	a 受診可能な近隣の歯科診療所・歯科診療所・仮設歯科診療所等 1 あり、2 ない、3 不明 b 巡回歯科チームの訪問 1-1 あり (定時)、1-2 あり (不定時)、2 ない、3 不明	
その他の問題	前) 歯科保健に関するその他の事項、避難所インフラ・施設状況に関する事項、医師の保健医療のチームに云々する事項		

※ 書ききれない情報や関連情報は、特記事項欄に記入してください。 日本災害時公衆衛生研究会 標準 Ver3.0 (〇〇県・〇〇県歯科医師会・〇〇県歯科衛生士会)

1、「評価者」の視点から

「知らず知らずに」書き込めること

2、「コーディネーター」の視点から

「パッと見て」重要度が分かること

3、「集計者」の視点から

とにかく「書き漏れがない」こと